

施策分類	公園愛護協力会活動の充実	単独・ <u>関連</u>
実施事業名	公園愛護協力会	国補・ <u>市単</u>
施策事業名	公園愛護協力会	国・県・ <u>市</u>
事業担当課	公園課	<u>単独</u> ・連携
事業概要	<p>・町内会などが地域の公園管理を自主的に行うため、公園愛護協力会を結成し、公園の清掃や除草、見回り等をおこない、市は活動内容に応じた報償金を交付する制度</p>	
事業実績等	19年度事業費	5.6百万円
	<p>H18年度未実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園愛護協力会結成団体数                      158団体</li> <li>・公園愛護協力会管理公園数                      210公園</li> </ul>	
現行の課題	<p>・公園愛護協力会で管理している公園について、高齢化等の理由により解散の申し出がある。また、同様の理由により管理活動が十分できなくなり、除草等について、市への手伝いの要請なども出されている。</p>	
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に身近な街区公園や近隣公園等での公園愛護協力会の新規結成促進を図っていく。</li> <li>・公園愛護協力会の活性化策の検討を行い、解散防止を図っていく。</li> </ul>	

## 平成13年度以降の公園愛護協力会結成数等推移

年 度	結成団体数	管理公園数	報償金額
平成13年度	1 3 3	1 6 8	3,969千円
平成14年度	1 3 4	1 7 6	3,736千円
平成15年度	1 3 7	1 8 0	3,774千円
平成16年度	1 3 9	1 8 2	3,603千円
平成17年度	1 4 6	1 9 3	4,109千円
平成18年度	1 5 8	2 1 0	4,696千円

施策分類	緑のボランティアの育成	単独・ <u>関連</u>
実施事業名	花のあるまちづくり事業	国補・ <u>市単</u>
施策事業名	花のあるまちづくり協力員制度	国・県・ <u>市</u>
事業担当課	公園課	<u>単独</u> ・連携
事業概要	<p>・市民を花のあるまちづくり協力員として委嘱し、草花の植栽・管理知識の向上を図り、地域の花のあるまちづくりの推進に役立てる。</p>	
事業実績等	19年度事業費	3.1百万円
<p>H18年度実績  花のあるまちづくり協力員 32名  (内訳)  千秋公園 9名  大森山公園 9名  八橋運動公園 9名  平和公園 5名(天徳寺山墓地公園)</p>		
現行の課題	<p>・花のあるまちづくり協力員(当初は「フラワーレディ」)制度が開始されたのが昭和55年からであり、事業開始から年数が経過し、市民意識や取り巻く環境も変化していると思われるため、市民から意見を聞くとともに今後の事業運営の見直し、検討が必要である。</p>	
今後の取組	<p>・市民参画の推進につながる施策は必要であることから、他の手法についても検討を進める。</p>	

## 花まち協力員の歴史

昭和57年度ころ 秋田市の推奨花決定(パンジー、ペコニア、ペチュニア、マリーゴールド、サルビア、コスモス)

年度	名称	人数	募集者 性別	事業名
昭和 55 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 56 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 57 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 58 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 59 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 60 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 61 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 62 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
昭和 63 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 元 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 2 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	50才以下女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 3 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	100	50才以下女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 4 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 5 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 6 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	100万本の花のあるまちづくりの推進
平成 7 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	花のあるまちづくりの推進
平成 8 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	花のあるまちづくりの推進
平成 9 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	花のあるまちづくりの推進
平成 10 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	花のあるまちづくりの推進
平成 11 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	花のあるまちづくりの推進
平成 12 年度	花のあるまちづくり協力員(フラワーレディ)	50	女性	花のあるまちづくりの推進
平成 13 年度	花のあるまちづくり協力員	35	男性・女性	花のあるまちづくりの推進
平成 14 年度	花のあるまちづくり協力員	35	男性・女性	花のあるまちづくりの推進
平成 15 年度	花のあるまちづくり協力員	35	男性・女性	花のあるまちづくりの推進
平成 16 年度	花のあるまちづくり協力員	32	男性・女性	花のあるまちづくりの推進
平成 17 年度	花のあるまちづくり協力員	32	男性・女性	花のあるまちづくりの推進
平成 18 年度	花のあるまちづくり協力員	32	男性・女性	花のあるまちづくりの推進

施策分類	「花と緑の相談所」の充実	①・②	
実施事業名	花のあるまちづくり事業	国・③・④	
施策事業名	自然環境保全事業	国・⑤・⑥	
事業担当課	公園課	⑦・⑧	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽管理や病虫害防除等の指導・相談に応じ、市民の花と緑への意識を高め、うるおいと緑豊かなまちづくりを推進するため昭和62年度より設置している。</li> <li>・ 一つ森公園体育館内で電話、訪問者に対し相談を行っている。</li> <li>・ 花と緑の移動相談所として冬囲い剪定講習会を実施している。</li> </ul>		
事業実績等		19年度事業費	0.3百万円
	<p>H18年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花と緑の相談員賃金 3月16日～11月30日までの期間、定休（日・月・祝）、 開所時間9時～16時30分 相談員2名を交代制で、1名づつ勤務を行っている。 勤務（8時30分～17時まで）</li> </ul>		
現行の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業予算の減額が続き、今後も増額の見込みがたたないが、その中でもより一層内容を充実させる方法の模索。</li> </ul>		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談所利用件数の過去3年間のデータを検証したところ1日の相談件数は平均5件であった。より効率的な運用を図るため開所期間、開所日を見直し、H19年度から、4月1日～10月31日までの期間、週2回（火・土）として開所している。今後も継続して運用を行っていく。</li> </ul>		

## 「花と緑の相談所」相談件数

年度	相談件数	移動相談	1日平均件数	開所日数
15	1,097	1回(20名)	4.9	222
16	1,021	1回(17名)	5.3	191
17	815	1回(14名)	4.5	182

施策分類	生垣用苗木交付の充実	①単独・②関連
実施事業名	緑化普及事業	③国補・④市単
施策事業名	自然環境保全事業 都市緑化推進事業	⑤国・⑥県・⑦市
事業担当課	公園課	⑧単独・⑨連携
事業概要	<p>・みどり豊かな都市環境の整備の一環として、また地震によるブロック塀等の倒壊の被害を未然に防止し安全なまちづくりを推進するため、秋田市内に生垣を植栽するものに対し、年1回広報により募集を行い、条件に合う者に生垣苗木を交付している。</p> <p>なお、生垣は1mに3本の植栽が必要になるが、市では苗木を2本交付している。残り一本の費用と植栽費用は申込者の負担となる。</p>	
事業実績等	19年度事業費	0.4百万円
H18年度	<p>生垣奨励苗木購入費用</p> <p>交付条件 道路に面していること ほか</p> <p>交付本数 一般家庭20本、事業所100本</p>	
現行の課題	<p>・優先して行うべき通学路等の沿線に設置されている危険なブロック塀は、撤去に多額の費用がかかることと、交付本数が上限でも20本と少ないことから、撤去費を負担したほかに、不足本数を補ってまで、生垣に変更する住民がいない。</p>	
今後の取組	<p>・アンケート調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの生垣は良いと考えている(9割)</li> <li>・制度を知っていた(5割弱)、うち活用したくない(7割弱)</li> <li>(活用したくない理由：ブロック塀撤去費、生垣の維持管理費)</li> <li>・安全で安心なまちづくりに効果有り(7割)</li> <li>・制度は必要(6割)</li> </ul> <p>以上の結果から、まちなかの生垣はほとんどの方が良いと考えており、また、安全で安心なまちづくりに効果があり、制度の必要性も高い。一方では、ブロック塀撤去費、維持管理費の観点から生垣を設置するのは難しいとの意見が多いことから、今後、安全で安心なまちづくりを目指すためには、事業効果の高い区域の選定や助成内容等の検討が必要と考えている。</p> <p>・厳しい財政状況の中、一般財源のみによる本事業については、「市民協働」や「受益と負担の適正化」の観点から本事業は条件を付して基金への組み入れを検討中である。</p>	

## 生垣奨励用苗木交付実績

年度	申請件数	交付件数	交付本数	保ツク	カサカサキ	ワヅカキ	マサキ	ニッコウハ	ムクゲ	トウモロコシ	エキナギ	トウモロコシ	コナリ	アリア	シキ
59	247	237	6,178	1,509	1,124	137	388	236	47	2,087	546	20	84		
60	226	211	5,205	1,517	897	330	614	171	30	1,006	491		149		
61	270	226	5,490	718	1,011		650	188	109	2,134	607	8	65		
62	140	122	2,734	107	562		308	48	99	1,489	110	11			
63	76	66	1,910	565	472		566	285				22			
元	238	96	2,162	332	453		465	517	252		139	4			
2	165	120	2,696	175	1,287		401	606	90		48	89			
3	169	139	3,241		1,731		406	622	138		214	130			
4	174	113	2,727		1,495		136	624	270		122	80			
5	240	155	3,255	784	1,372		362	316	275		146				
6	261	127	2,824	204	682		116	340		1,226				176	80
7	229	122	2,774	275	532		144	198	62	1,246				317	
8	155	125	2,880	317	726		172	320	138	1,109	98				
9	173	91	1,974	182	384	87	138	353	72	758					
10	165	165	2,981	179	646	150	162	399	106	1,339					
11	120	120	2,301	160	427	104	210	114	48	1,238					
12	99	99	1,814	127	398	62	84	191		784				168	
13	55	55	1,001	20	281	20		124		536				20	
14	83	80	1,367	54	310	51	34	289		470				159	
15	41	39	770		108	20	32	100		460				50	
16	35	33	525		123		40	75		273				14	
17	50	46	789		121	60		140		422				46	
合計	3,411	2,587	57,598	7,225	15,142	1,021	5,428	6,256	1,736	16,577	2,521	364	298	950	80
全体交付数に対する割合			100%	12.50%	26.20%	1.70%	9.40%	10.80%	3.00%	28.70%	4.30%	0.60%	0.50%	1.60%	0.10%

施策分類	花苗・プランター等貸出の充実 公共建築物の緑化 学校緑化の拡充	単独・ <u>関連</u>
実施事業名	花のあるまちづくり事業	国補・ <u>市単</u>
施策事業名	自然環境保全事業	国・ <u>県</u> ・ <u>市</u>
事業担当課	公園課	<u>単独</u> ・ <u>連携</u>
事業概要	<p>・花のある美しいまちづくりの推進のため、公園や町内の花壇に植栽する花苗を市民（町内会や子ども会等の団体単位）へ交付する。また、秋田市所管の施設（他課所室、学校ほか）へ花苗の交付をおこないプランターを貸し出している。</p>	
事業実績等	19年度事業費	13百万円
H18年度 春花壇苗購入費用、夏秋花壇苗購入費用、花壇用球根購入費用		
現行の課題	<p>・年々予算が削減される中、交付数量が少なくなることが予測され、今後の緑化推進に支障をきたす。</p> <p>・交付された花苗以外に不足分を自ら補充し、植栽している団体が少ない。</p> <p>・民間団体に無償で花苗を交付する制度であり、受益と負担の観点で疑義がある。</p>	
今後の取組	<p>・花のあるまちづくりに関するアンケート結果より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花苗をどのように用意しているか <ul style="list-style-type: none"> <li>市での交付のみ（5割弱） 市のほかに町内会で（3割強）</li> <li>町内会のみ（1割）</li> </ul> </li> <li>・今後交付本数が減っても活動を続けたい（7割弱）</li> <li>・花に関する活動はどのような効果があるか（複数回答可） <ul style="list-style-type: none"> <li>町内会に一体感が生まれる：98件</li> <li>町内会員の親睦が図られる：93件</li> <li>世代間交流が図られる：59件</li> <li>効果がない：2件</li> </ul> </li> <li>・今後も花苗交付制度を継続する必要がある（9割弱）</li> </ul> <p>以上の結果から、市で交付している花の他に各自準備している町内会が4割強もあり、交付本数が減っても活動を継続したい町内会が7割弱、また、花に関する活動は地域の絆づくりに効果があるとの考えが多くこの事業の継続を望まれている。</p> <p>・厳しい財政状況の中、一般財源のみによる本事業については、「市民協働」や「受益と負担の適正化」の観点から本事業は条件を附して基金への組み入れを検討中である。</p>	

花のあるまちづくり事業花苗交付(過去3年)

15年度	852	団体	市民団体	615	公共団体	237	294,667 苗
16年度	859	団体	市民団体	625	公共団体	234	260,130 苗
17年度	1,058	団体	市民団体	781	公共団体	277	321,859 苗

花苗交付実績

花 苗			
年度	花壇苗(本)	球根(個)	提供団体数
S55~H3	280,000	6,500	-
4	299,435	6,715	-
5	294,644	6,715	-
6	293,380	7,515	-
7	285,550	7,465	-
8	286,800	7,195	-
9	284,325	7,295	-
10	267,275	5,995	-
11	282,825	5,795	-
12	278,725	5,595	514
13	286,830	5,750	752
14	292,360	6,350	811
15	294,667	6,200	852
16	260,130	6,400	859
17	321,859	6,700	1,058
S55~H17	4,364,805	169,685	-

河内郡と合併による  
団体数 交付本数の増

・花壇苗

春苗  
夏苗

ハンジ(三色すみれ)、デイジー(ひなぎく)は公共施設のみ  
マリーゴールド、サルビア、ニチニチソウ、ペニア

施策分類	記念植樹の充実	①単独・関連
実施事業名		国補・市単
施策事業名	自然環境保全事業	国・県・市
事業担当課	秋田県緑化推進委員会	①単独・連携
事業概要	<p>・(社)秋田県緑化推進委員会では、森づくりや環境緑化に対する県民参加の促進と緑化思想の普及啓発を図るため、各種市民グループや学校が行う植林(植樹)、育林(育樹)及び環境緑化活動に助成し、もって緑豊かな郷土づくりを推進するものとして実施している。</p>	
事業実績等	19年度事業費	- 百万円
<p>・市民グループ森づくり活動支援事業(18年開始事業) 緑豊かな郷土づくりに視するため、市民グループが行う植樹・育樹・緑化活動への助成事業</p> <p>平成18年度 秋田和洋女子高校 スギ200本、ケヤキ100本 90人</p>		
現行の課題	<p>・植林(植樹)、育林(育樹)及び環境緑化活動については、学校関係者の活動実績はあるが、各種市民グループによる活動をどのように広げていくかが、課題である。</p>	
今後の取組	<p>・秋田県緑化推進委員会と連携を図りながら活動を推進していく。</p>	

## 秋田県緑化推進委員会

秋田市管内緑化事業・学校緑化事業実績調べ(県緑推事業)より

## 学校植樹事業

児童生徒の緑化思想の高揚を図るため児童生徒の行う植樹事業に対する補助  
補助 100,000円限度

年度	学校名	事業名	樹種・本数
14	将軍野中学校	創立20周年記念植樹	あじさいほか 105本
15	勝平小学校	校舎改築記念植樹	ソメイシロほか 16本
16	新屋高等学校	創立20周年記念植樹	五葉松 2本
17	下新城小学校	創立130周年記念植樹	ドングリほか 9本
17	金足東小学校	創立130周年記念植樹	コブシほか 5本
17	広面小学校	創立130周年記念植樹	スモモほか 50本

(過去4年実績)

施策分類	「病虫害防除活動」の充実	①・②	
実施事業名	樹木病虫害対策事業	③・④	
施策事業名	自然環境保全事業	⑤・⑥・⑦	
事業担当課	公園課 森林整備課	⑧・⑨	
事業概要	<p>・公園等の公共施設で発生するアメリカシロヒトリをはじめとする害虫を駆除し、市民が快適に利用できるようにするもの。</p>		
事業実績等	19年度事業費	21百万円	
<p>H18年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカシロヒトリ防除業務委託</li> <li>・天狗巣病防除業務委託 千秋公園ほか1箇所 142本</li> <li>・桜病虫害防除業務委託 千秋公園</li> <li>・備品購入（動力噴霧機） マツノザイセンチュウ防除業務委託に関しては薬剤の効果期間であることから平成18年度は、休止とする。</li> </ul>			
現行の課題	<p>・事業予算の減額が続き、今後開発による帰属等で管理する公園が増加していく中、より一層内容を充実させる方法の模索。</p>		
今後の取組	<p>・管理している公園が市内に多数点在していることから、町内会等に情報の提供を呼びかけて早期発見、早期防除のため、町内会等との協力体制の構築を検討する。</p>		

アメリカシロヒトリ防除業務委託	
防除本数	71,888 本
第一化期 (6月～7月)	64,616 本
第二化期 (8月～10月)	7,272 本
参考 H17年度被害本数	72,576 本

マツノザイセンチュウ防除業務委託  
樹幹注入計画表

対象木	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
353本	樹幹注入	—— 効果期間 ——	→ 樹幹注入	—— 効果期間 ——	→ 樹幹注入	—— 効果期間 ——	→ 樹幹注入	
770本		樹幹注入	—— 効果期間 ——	→ 樹幹注入	—— 効果期間 ——	→ 樹幹注入	—— 効果期間 ——	→ 樹幹注入
			休止期間			休止期間		

施策分類	緑化のパンフレット等の発行	単独・ <u>関連</u>																		
実施事業名	公園のパンフレットの作成	国補・ <u>市単</u>																		
施策事業名	千秋公園、一つ森公園、太平山リゾート公園、梅林園、大滝山自然公園	国・県・ <u>市</u>																		
事業担当課	公園課、森林整備課	単独・ <u>連携</u>																		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園のパンフレットを作成し、市の関連施設、観光案内所やホテルなどに配付し、市民や観光客に提供している。</li> <li>・広報あきたの「木の花草の花」のコーナーで公園等の木や花について紹介している。</li> </ul>																			
事業実績等	19年度事業費	- 百万円																		
<p>パンフレット等の作成状況</p> <table> <tr> <td>千秋公園</td> <td>平成13年度作成</td> <td>50,000部</td> </tr> <tr> <td>一つ森公園</td> <td>平成15年度作成</td> <td>10,000部</td> </tr> <tr> <td>太平山リゾート公園</td> <td>平成18年度作成</td> <td>25,000部</td> </tr> <tr> <td>梅林園</td> <td>随時（不足時に自前で作成）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大滝山自然公園</td> <td>随時（不足時に自前で作成）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>太平山県立自然公園</td> <td>平成17年度作成</td> <td>12,000部</td> </tr> </table>			千秋公園	平成13年度作成	50,000部	一つ森公園	平成15年度作成	10,000部	太平山リゾート公園	平成18年度作成	25,000部	梅林園	随時（不足時に自前で作成）		大滝山自然公園	随時（不足時に自前で作成）		太平山県立自然公園	平成17年度作成	12,000部
千秋公園	平成13年度作成	50,000部																		
一つ森公園	平成15年度作成	10,000部																		
太平山リゾート公園	平成18年度作成	25,000部																		
梅林園	随時（不足時に自前で作成）																			
大滝山自然公園	随時（不足時に自前で作成）																			
太平山県立自然公園	平成17年度作成	12,000部																		
現行の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット作成から年数が経過し、公園整備が進むなどで内容の見直しが必要なものがある。</li> </ul>																			
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズなどにあつたより魅力的な内容のパンフレット作成に努めるほか、利用者の視点での配布先などについても検討する。</li> </ul>																			

施策分類	緑のイベントの開催	単独・ <u>関連</u>												
実施事業名	緑に関するイベントの開催	国補・ <u>市単</u>												
施策事業名	太平山山開き登山、花と緑のガーデニングスクール、花壇コンテスト、冬期剪定冬囲い講習会	国・県・ <u>市</u>												
事業担当課	公園課	<u>単独</u> ・連携												
事業概要	<p>・緑に対する啓発を行うため、各種のイベントを実施。</p> <table> <tr> <td>太平山山開き登山</td> <td>6月第2日曜日</td> </tr> <tr> <td>花と緑のガーデニングスクール</td> <td>7月上旬</td> </tr> <tr> <td>花壇コンテスト</td> <td>9月上旬</td> </tr> <tr> <td>冬期剪定冬囲い講習会</td> <td>10月下旬～11月上旬</td> </tr> </table>		太平山山開き登山	6月第2日曜日	花と緑のガーデニングスクール	7月上旬	花壇コンテスト	9月上旬	冬期剪定冬囲い講習会	10月下旬～11月上旬				
太平山山開き登山	6月第2日曜日													
花と緑のガーデニングスクール	7月上旬													
花壇コンテスト	9月上旬													
冬期剪定冬囲い講習会	10月下旬～11月上旬													
事業実績等	19年度事業費	- 百万円												
H18年度実績	<table> <tr> <td>太平山山開き登山</td> <td>参加者</td> <td>13名(豪雪等により前岳で実施)</td> </tr> <tr> <td>花と緑のガーデニングスクール</td> <td>参加者</td> <td>71名</td> </tr> <tr> <td>花壇コンテスト</td> <td>参加町内</td> <td>81団体と14個人</td> </tr> <tr> <td>冬期剪定冬囲い講習会</td> <td>参加者</td> <td>24名</td> </tr> </table>		太平山山開き登山	参加者	13名(豪雪等により前岳で実施)	花と緑のガーデニングスクール	参加者	71名	花壇コンテスト	参加町内	81団体と14個人	冬期剪定冬囲い講習会	参加者	24名
太平山山開き登山	参加者	13名(豪雪等により前岳で実施)												
花と緑のガーデニングスクール	参加者	71名												
花壇コンテスト	参加町内	81団体と14個人												
冬期剪定冬囲い講習会	参加者	24名												
現行の課題	<p>・各イベントとも毎年一定の参加者等はあるものの、参加者が増加傾向にあるイベントは少ない。</p>													
今後の取組	<p>・緑の普及や啓発として、市民参画の推進につながる施策は必要であることから、参加者を増加させるための方策や新たな手法についても検討を進める。</p>													

施策分類	花壇コンテスト等の開催	①単独・関連
実施事業名	花いっぱい事業（花壇コンクール）	国補・市単
施策事業名		国・県・市
事業担当課	秋田市市民憲章推進協議会	単独・②連携
事業概要	<p>町内花壇（町内会、婦人会、PTA、親の会など）、老人クラブ花壇、子供会花壇、学校花壇（保育所、幼稚園、小中学校、高等学校、各種学校など）、職場花壇（官公庁、会社、工場、各種団体）、家庭花壇（家族協同で作っている花壇）の花壇別にコンクールをおこなっている。</p> <p>後援 秋田市公園課、秋田市教育委員会</p>	
事業実績等	19年度事業費	- 百万円
平成18年度	<p>・コンクール参加数      81団体    14個人</p>	
現行の課題	<p>・一度参加した団体、個人には開催について通知し参加してもらっているが、新規での参加者が少ない。</p>	
今後の取組	<p>・幅広く参加してもらうためPR等について検討。</p> <p>・コンクール参加者により、花壇管理について問い合わせが多いため、学習会の開催などを検討。</p> <p>・特別優秀賞を連続で5年とった団体などには、現行の最高の賞より格上の表彰を検討。</p> <p>・後援の秋田市、秋田市教育委員会と連携を図りながら活動を推進していく。</p>	

## 花壇コンクール参加実績

平成15年度	74団体	12個人
平成16年度	75団体	15個人
平成17年度	87団体	15個人

施策分類	花のあるまちづくりの推進・拡充	単独・ <u>関連</u>
実施事業名	花のあるまちづくり事業 (草花植栽プランター設置業務委託)	国補・ <u>市単</u>
施策事業名	自然環境保全事業	国・県・ <u>市</u>
事業担当課	公園課	<u>単独</u> ・連携
事業概要	<p>・ 駅前の仲小路、広小路に花植栽プランターを設置し管理を行っている。</p>	
事業実績等	19年度事業費	1百万円
<p>H18年度 草花植栽プランター設置業務委託費</p>		
現行の課題	<p>・ 仲小路、広小路の歩道に面した店舗前に設置しているプランターおよび植栽の管理は全て市で行っているため、地元振興会等からのボランティア活動が少ない。</p> <p>・ プランターの老朽化により、今後、多額の更新費用が見込まれる。</p> <p>・ 市都市景観条例をもとに川反地区に花植栽プランターを設置していたが、市勢活性化推進協議会が行った「川反地区振興に関するアンケート」の結果により認知度が低かったため廃止している。同事業も見直しが検討される。</p>	
今後の取組	<p>・ 花のあるまちづくりに関するアンケート結果より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プランターを設置していることを知っている(9割強)</li> <li>・ プランター設置によりどのような効果があるか(複数回答可)</li> <li>美しい景観づくりにつながる124件</li> <li>うるおいとやすらぎをあたえる124件</li> <li>やわらかな印象をあたえる102件</li> <li>効果がない1件</li> </ul> <p>・ 市内中心部を花で飾る必要があると思う(9割弱)</p> <p>・ 花の維持管理のボランティアを募集した場合協力したいと思うか。 思う(5割弱)、思わない(1割)、わからない(3割強)</p> <p>以上の結果から、認知度も高く、効果もあり継続を望まれている事業である。また、維持管理についてボランティアでの協力要請に応える意識も高い。</p> <p>・ 厳しい財政状況の中、一般財源のみによる本事業については、「市民協働」や「受益と負担の適正化」の観点から本事業は条件を附して基金への組み入れを検討中である。</p>	

草花植栽プランタ-管理業務委託（広小路、仲小路、他貸出）

設置個数 99個、花苗 1,225株

期間 6月～11月

施策分類	花のあるまちづくりの推進・拡充	単独・ <u>関連</u>
実施事業名	花のあるまちづくり事業 (花壇植栽管理業務委託)	国補・ <u>市単</u>
施策事業名	自然環境保全事業	国・県・ <u>市</u>
事業担当課	公園課	<u>単独</u> ・連携
事業概要	<p>・山王大通り道路中央分離帯の花壇植栽管理を行っている。</p>	
事業実績等	19年度事業費	3百万円
<p>H18年度 花壇植栽管理業務委託費</p>		
現行の課題	<p>・花壇等の老朽化により、今後、多額の更新費用が見込まれる。 ・県の所有する山王大通りの中央分離帯の一部をこの事業のため、市で占用許可を受け、市費を投じ、花壇として管理を行っている。</p>	
今後の取組	<p>・花のあるまちづくりに関するアンケート結果より  <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇づくりをしていることを知っている(9割強)</li> <li>・花壇づくりによりどのような効果があるか(複数回答可)            美しい景観づくりにつながる124件            うるおいとやすらぎをあたえる124件            やわらかな印象をあたえる102件            効果がない1件</li> <li>・市内中心部を花で飾る必要があると思う(9割弱)</li> <li>・花の維持管理のボランティアを募集した場合協力したいと思うか。            思う(5割弱)、思わない(1割)、わからない(4割強)</li> </ul>           以上の結果から、認知度も高く、効果もあり継続を望まれている事業である。また、維持管理についてボランティアでの協力要請に応える意識も高い。         </p> <p>・厳しい財政状況の中、一般財源のみによる本事業については、「市民協働」や「受益と負担の適正化」の観点から本事業は条件を附して基金への組み入れを検討中である。</p>	

花壇植栽管理業務委託（山王十字路～臨海十字路他）

面積 476.1m<sup>2</sup> 花苗 9,990株×2回(春・夏)=19,980株

期間 4月～12月